

長洲小だより 第7号

発行 長洲町立長洲小学校
長洲町長洲1776番地
Tel 0968(78)0109 fax (78)7103



令和5年9月8日（金）

夏休みが終わって2週間経過

夏休みが終わって2週間、まだ日中の暑さは酷いですが、ここ数日朝晩は涼しく感じています。秋がそこまで来ているようですね。日中の暑さもどこ吹く風で、子供達はいつもの調子が戻って、元気に駆け回っています。感染症等の拡大を懸念していますが、学校では手洗いとうがい徹底させているところです。

本日、9月8日（金）は二十四節季でいうところの「白露」です。白露（はくろ）とは、夜中に大気が冷え、草花や木に朝露が宿りはじめる頃を意味しています。降りた露は光り、白い粒のように見えます。これから日中の暑さも和らぎはじめ、だんだんと秋の気配が深まっています。

そういえば、今月29日（金）は中秋の名月です。筆者拙宅では二十四節季の催しを大切にしています。当日は玄関先に、すすきをはじめお団子やぶどう、梨等をお供えして月見をします。外が涼しければ金曜日の夜ですし、筆者は少しだけ外でお酒も嗜みます。最近時間の速さを痛感しながらも、平和な時間に感謝しつつ、自分自身を振り返っています。

全国学力学習状況調査を深読みしてみた！

子供達に必要なものとは

全国学力・学習状況調査の結果が7月末に公表されました。長洲小の子供達はよく頑張っていて、国や県の結果を上回りました。しかしながら、課題も見えてきました。

この調査は学習指導要領の内容と合致しており、項目（詳細は省略）ごとに強みや弱みが分かるようになっていました。算数については全ての項目について国、県を上回っていました。しかし、国語については「情報の扱い方に関する事項」と「書くこと」が国、県共に下回っていました。特に「書くこと」については正答率において11%ほど国、県を下回っていました。これが何を意味するのか私見を交えて深読みしてみました。

「書くこと」とはすなわち、アウトプット、自分の考えを文字として表現することです。実社会ではかなり重要なスキルですね。筆者個人の見解ですが、書く力を向上させるには、優れた文章を読むことが欠かせないと思います。というより、優れた文章を読む「読む」ことからしか「書く」力を伸ばす術はないでしょう。「読む」「書く」は表裏一体なのです。（読む文章はあくまで一定水準の優れた文章であること。一定水準というのは「日本語として正しく表現されているかどうか」を基準とする。）

「読む」力と「書く」力が高まれば、外部の刺激から情報を取捨選択し、自分自身の言葉で表現することが可能となってきました。そうならば「情報の扱い方に関する事項」についても改善されることが期待できるのです。

子供達の学力向上のための「読書」の啓発は我々教職員のも命題ですが、実は家庭のご協力なくしては成り立たないものでもあります。各ご家庭に於かれましては、「読書」に親しむ環境を整えて頂き、子供達の資質能力の向上にご協力をお願い致します。

中学生職場体験

8月29日（火）から31日（木）にかけて、長洲中2年生が職場体験に来てくれました。とても礼儀正しい3名（上野さん、濱崎さん、佐藤さん）で、教師の業務に真摯に向き合っていました。片仮名を1年生に指導する一コマもあって、おっかなびっくりの時間もあったようです。弟や妹が長洲小学校に在籍している生徒さんもいて、お互い照れくさそうにしている場面もありました。3日間の体験中は緊張されたことでしょう。将来、3名の生徒さんが長洲町で教鞭を執る時が来ることを切に願っています。

